

# 戦略II

## 自治の力を活かし市民が

## 満足するまちをつくる

# 移動時間20分エリアの拡大

快適モビリティ都市の実現

5年後の  
具体的  
目標

### プロジェクト1

## スムーズ静岡 プロジェクト

市街化区域とその縁辺から中心部への移動時間が20分以内の圏域を拡大し、快適なモビリティ都市を実現していくため、総合的な交通体系の整備にとりこんでいきます。

**国・県・市道の一元的な  
道路整備・管理を行います。  
公共交通の利用促進などにより  
中心市街地への移動時間の  
短縮を目指します。**

### 交通容量の拡大

《整備する主な路線名》(国)・・・国道 (主)・・・主要地方道 (都)・・・都市計画道路

【広域環状軸系】 (主)山脇大谷線

【東西軸系】 (国)1号バイパス・(国)150号バイパス・(都)丸子池田線 など

【南北軸系】 (国)52号・(主)井川湖御幸線・(都)日の出町押切線・  
(主)山脇大谷線 など

【放射軸系・環状軸系】(国)149号・(都)静岡下島線・(都)宮前岳美線・(都)中吉田瀬名線 など

### 交通手段の適正な利用促進

《オムニバスタウン計画の展開》

バスレーンの設置・バス案内システムの充実  
自転車道、自転車等駐車場の整備・時差出勤、フレックスタイムの促進など

現状

中心部へ移動するのに30分以上かかる

排ガス

渋滞

車の増加

都市活動低下



JR静岡駅を中心とした時間圏域の拡大



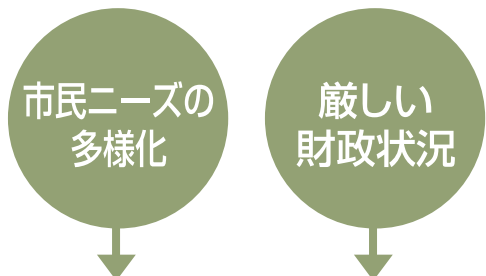
JR清水駅を中心とした時間圏域の拡大



# 市民満足度100%プロジェクト

市がほとんどの市民サービス提供者となる行政スタイルから転換し、最善の市民サービスを市民とともに考えていきます。そして市民満足度を最大限に向上するようにとりくんでいきます。

現状  
市がなんでも行う行政スタイル



市民満足度  
**72%**  
(平成16年度  
市民意識調査)

## 実効性の高い行政評価制度の確立

- PDCAサイクルの徹底  
(Plan → Do → Check → Action)  
↑
- 成果指標の設定
- 評価基準の策定
- 外部評価制度の導入 など



## 利便性の高い行政サービスの展開

- 区役所による身近な行政の推進 など



区役所で身近なサービスを受けられてよかったわ

# 行政スタイルの転換

5年後の  
具体的  
目標

## 透明性が高く説明責任を果たす情報提供

- ホームページなどを活用した積極的な情報発信
- 会議の公開
- 各種審議会などへの市民委員の公募 など



## 市民が主役となるまちづくり

- 協働のまちプロジェクト(再掲)推進
- 市民の声システムの活用 など



住み続けたいと思う市民を85%に

市民の満足するまちの実現

※市の行う市民意識調査において今後も静岡市に住み続けたいと回答した者の割合